交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイト等に記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	田村 侑祈	学年(渡航時)	3 年
派遣先大学	ライデン大学		
国･地域	オランダ		
派遣期間	2024 年 8 月 ～ 2025 年 6 月		

履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
2425-S1 Struikelblokken in het Nederlands als tweede taal, Taalwetenschap II	オランダ語学習者は、オランダ語のどのような要素で難しさを感じるのかを言語学的なアプローチで観察する。
2425-S1 Nederlandse letterkunde 1: van Middeleeuwen tot Verlichting, Cultuurwetenschap II	オランダの文学作品を読み、当時のオランダ人の考え方や歴史、文学作品の背景について学ぶ。
2425-S1 Dutch Debates - Topical Questions in Current Society, Culture I	現代のオランダ社会についてグループで話し合い、オランダ社会についての理解を深める。
2425-S1 Dutch Painting 1400-1950: Introduction to the Art History of the Netherlands, Cultuurwetenschap I	オランダの代表的な画家や絵画について歴史的、宗教的な視点から学ぶ。
2425-S1 Culture and Society of the Netherlands; An Inside View	オランダの社会や歴史、文化について講義形式で学ぶ。
2 学期目	
履修科目	授業内容
2425-S2 Core Curriculum: Philosophy. of Science	科学と哲学という学問がどのようにお互いの学問の強みと弱みを補いあっているのか、人文学がどのように自然科学に貢献しているのかについて学ぶ。
2425-S2 Inleiding Nederlandse taalkunde	オランダ語を基本とし、言語学について広く学ぶ。
2425-S2 Analyse van Nederland in moderne films	オランダの映画を通してオランダの歴史や社会について学ぶ。

留学レポート(1,500 字以上)

オランダに留学する前にももちろんオランダの社会や歴史について学んでいたが、実際に留学することで解像度がさらに高くなったと感じた。オランダについてからすぐにあったのが、オランダ語能力テストだった。そのテストの結果によって学生がレベルごとに振り分けられる。運が良かったのか悪かったのか、私はオランダ特別コースの学生で唯一、そのテストに合格し 2 学年の授業を取ることになった。さっそく授業が始まり、すぐにオランダの大学での授業と日本の大学での授業の違いに気づいた。そもそも授業がすべてオランダ語で行われていたこともあり、講義中は毎回私に発言が求められないか、講義についていけるかなどの不安でいっぱいだった。実際、講義について行くのは決して簡単ではなかった。他の学生が積極的に質問している姿を見て、自分はこの講義を受けていいのかと思うこともあったし、聞き取れず理解できないこともたくさんあった。むしろ理解できないことがほとんどで、教授に何を質問すべきかすらわからなかった。特に文学の授業では毎週文学作品を読んでから授業に参加することが求められており、作品一つにつき 30 ページ以上読まなければならなず、時には 2 作品以上読まなければいけなかった。週末はほとんど自由時間を図書館で課題に使った。他の授業も同じように、オランダでは基本的に授業前の予習が課題のスタイルで、予習をしなければ授業について行くのが大変だった。それが日本の大学の講義との一番大きな違いだと感じ、慣れるまで時間がかかった。しかし、時間が経つにつれて授業が理

解できるようになり、気付かないうちに週末の自由時間も増えていた。オランダの授業スタイルを通して、以前より自分で学習するということに抵抗を感じなくなった。

授業以外の生活でも、例えば私は 25 人のハウスメイトが住む寮に住んでいたり、普段からインターナショナルなコミュニティに参加していたので学ぶことが多かった。寮では共同のキッチンやリビングルームなどを清潔に保ったり、全員が心地よく生活できるようにするためにコミュニケーションをしっかり取ることなどを学んだ。長崎大学のホルテンシア寮と違って、さらに国際的な寮だったのでお互いに理解できないことや、いろいろな問題が起きたりしたが、日本人よりも直接しっかりとコミュニケーションをとるハウスメートのおかげで、秩序の保った生活ができたと感じる。また、オランダ人をはじめ、他の国の友人を作ることができてお互いに助け合うことができた。留学生活は理想のようにいつも楽しいわけではなく、授業のことや人間関係のことなどで悩み事やつらい時もあったが、オランダでも仲の良い友達の助けでそれらの問題を乗り越えて行くことができた。留学で長期間海外に生活することで、オランダの文化はもちろん、人間関係の大切さ、自分のアイデンティティ、日本の素晴らしさなど、日本で生活していては気付けないことに気づくことができた。

留学中の写真（5 枚程度） ※写真のキャプションも入れること

オリエンテーションウィークの友達

ハウスメイトとテーブルテニス

日本学科のオランダ人学生の故郷で

紹介動画撮影の課題

帰国前日